

## 経営学研究科教育課程編成の方針

### ■博士課程前期課程

#### 修士(経営学)

本課程では、リーダーシップ開発コースとして、以下のとおり、学位授与の方針に沿って、基礎科目と専門科目を開講し、系統的に履修できるように教育課程を編成している。なお、これらの教育課程を通じて得られる学修成果は、科目ごとに定める評価基準および特定の課題についての研究成果の審査および最終試験によって評価する。

1. 新しい時代にあった経営環境を斬新な学際的アプローチから分析できる知識と能力を身に付けるため、基礎科目として、「経営学概論」、「経営戦略論」、「組織行動論」等の授業科目を開講する。また、専門科目として、「データアナリティクス演習」等の授業科目を開講する。
2. グローバルに学際的なアプローチから自ら理論を実践できるリーダーシップを身に付けるため、基礎科目として、「経営学概論」、「経営戦略論」、「組織行動論」等の授業科目を開講する。また、専門科目として、「チームワーク論」等の授業科目を開講する。
3. リーダーシップ開発・人材開発・組織開発についての専門的知識を有し、各種人事データの解析を行い、組織において課題解決を行うことで高度専門職業人として活躍できる能力を身に付けるため、基礎科目として、「経営学概論」、「経営戦略論」、「組織行動論」等の授業科目を開講する。また、専門科目として、「ケースで学ぶリーダーシップ」、「リーダーシップの理論」、「キャリアとリーダーシップ論」等の授業科目を開講する。
4. リーダーシップ開発・人材開発・組織開発についての専門的知識を有し、研究者として博士課程後期課程に進学できる能力を身に付けるため、基礎科目として、「経営学概論」、「経営戦略論」、「組織行動論」等の授業科目を開講する。また、専門科目として、「質的研究法」等の授業科目を開講する。
5. 特定の課題についての研究のため、研究指導として、「リーダーシップ・ファイナル・プロジェクト1」、「リーダーシップ・ファイナル・プロジェクト2」等の授業科目を開講する。

#### 修士(国際経営学)

本課程では、学位授与の方針に沿って、基礎科目と専門科目を用意し、課程の目的に応じて系統的に履修できるように教育課程を編成している。なお、これらの教育課程を通じて得られる学修成果は、科目ごとに定める評価基準および特定の課題についての研究成果の審査および最終試験によって評価する。

1. 新しい時代にあった経営環境を斬新な学際的アプローチから分析できる知識と能力を身に付けるため、基礎科目として「Module1」から「Module6」等の授業科目を開講する。また、専門科目として、「Strategic Financial Management」、「Advanced Topics in Accounting」、「Sustainability」等の授業科目を開講する。

2. グローバルに学際的なアプローチから自ら理論を実践できるリーダーシップを身に付けるため、基礎科目として、「Module1」から「Module6」等の授業科目を開講する。また、専門科目として、「Leadership in Global Organization」等の授業科目を開講する。
3. 経営学の分野で優れた研究者になるために必要となる基礎的な能力を身に付けるため、基礎科目として、「Module1」から「Module6」等の授業科目を開講する。
4. 企業・行政機関・NGO や NPO などにおいて、自分の専門を生かした高度専門職業人としてキャリアを築くことができる能力を身に付けるため、基礎科目として、「Module1」から「Module6」等の授業科目を開講する。また、専門科目として、「Advanced Seminar in Global Business 1」「Advanced Seminar in Global Business 2」等の授業科目を開講する。
5. 特定の課題についての研究のため、研究指導として、「Final Research Project」等の授業科目を開講する。

#### 修士(公共経営学)

本課程では、学位授与の方針に沿って、基礎科目と専門科目を用意し、課程の目的に応じて系統的に履修できるように教育課程を編成している。なお、これらの教育課程を通じて得られる学修成果は、科目ごとに定める評価基準および修士論文の審査および最終試験によって評価する。

1. 新しい時代にあった経営環境を斬新な学際的なアプローチから分析できる知識と能力を身に付けるため、基礎科目として「Research Methodology」、「Applied Microeconomics」等の授業科目を開講する。また、専門科目として、「Public Policy」、「Development Economics」等の授業科目を開講する。
2. グローバルに学際的なアプローチから自ら理論を実践できるリーダーシップを身に付けるため、基礎科目として「Public Administration」「Mathematics for Economics and Management」等の授業科目を開講する。また、専門科目として、「Quantitative Methods for Policy Analysis」「Security Sector Analysis and Management」等の授業科目を開講する。
3. 経営学の分野で優れた研究者になるために必要となる基礎的な能力を身に付けるため、基礎科目として、「Mathematics for Economics and Management」、「Statistics for Economics and Management」、「Applied Econometrics」等の授業科目を開講する。また、専門科目として、修士論文の執筆指導を目的とした「Master's Thesis Supervision 1」から「Master's Thesis Supervision 4」等の科目を開講する。
4. 企業・行政機関・NGO や NPO などにおいて、自分の専門を生かした高度専門職業人としてキャリアを築くことができる能力を身に付けるため、基礎科目として、「Research Methodology」、「Public Finance and Budgeting」、「Applied Microeconomics」、「Public Administration」等の授業科目を開講する。また、専門科目として、

「Development Planning and Policy Evaluation」、「Public Policy」、「Public Private Partnership」等の授業科目を開講する。

5. 修士論文の作成のため、研究指導として、「Master's Thesis Supervision 1」から「Master's Thesis Supervision 4」等の授業科目を開講する。

#### ■博士課程後期課程

##### 博士(経営学)

本課程では、学位授与の方針に沿って、コースワーク科目を用意し、課程の目的に応じて系統的に履修できるように教育課程を編成している。なお、これらの教育課程を通じて得られる学修成果は、科目ごとに定める評価基準および博士論文の審査および最終試験によって評価する。

1. 大学その他の教育・研究機関で教育者・研究者として活躍できる能力を身に付けるため、コースワーク科目として「リサーチ・メソドロジーA」、「リサーチ・メソドロジーB」、「リサーチ・メソドロジーC」の授業科目を開講する。
2. 経営学の分野の高度な専門性を活かしてシンクタンク・企業や行政機関の研究所・NGO やNPOなどで活躍できる能力を身に付けるため、「リサーチ・メソドロジーA」、「リサーチ・メソドロジーB」、「リサーチ・メソドロジーC」の授業科目を開講する。
3. 博士論文の作成のため、研究指導を行う。